

様式第3（第6条関係）

回 答 書

28小岩衛総第77号
平成28年7月22日

関 係 各 位

小牧岩倉衛生組合
管理者 小牧市長 山下 史守朗

工事名 旧工場棟解体及びストックヤード等整備工事

1 入札公告、その他全般

No.	ページ番号 又は 図面番号	項目 又は 図面名称	質問事項	回答
1	2	3-(8)	解体期間中監督指揮実績技術者を参画する事とありますが、参画とはどのような事を求められていますか、御教授願います。	本工事に参画とは、施工計画及び官庁申請書類の作成における内容確認や打合せ出席、現場施工時における定期的な施工状況の確認及び安全パトロールの実施等を行うものとする。
2	10	様式1-2	建築工事技術者の記載欄がありますが、公告において建築工事施工時に専任で配置(2ページ)とあります。計画では約1.5年後の施工となりますが、現段階で建築技術者記載し途中変更できません。柔軟な対応をお願いしたいと思います。ご検討願います。	原則、第13項(5)イ(8ページ)のとおりとするが、やむを得ない場合は協議できるものとする。
3	12	様式2	工事費内訳書の項目で、設計書には解体工事、建築工事と経費が分かれています。提出時には経費は合算するのでしょうか。ご教授願います。	設計書の項目と一致させるものとし、経費は解体工事、建築工事それぞれ記載すること。
4	全般		弊社職員、協力会社共現地確認行いたいと思います。ご検討願います。	平成28年7月6日付け回答書にて回答済み
5	2	3-(8)	「建築面積1200㎡以上の建築工事監理技術者実績のある技術者を専任で配置すること」の中の建築面積とは建築延べ床面積ととらえてよろしいでしょうか。	よろしい。
6	2	3-(8)	「解体工事の監督指揮実績のある技術者が本工事に参画すること」とありますが、参画者は常駐しないものと考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
7	12	様式2	工事費内訳書の中の代表者職氏名の押印は必要でしょうか。	押印は無くても可とする。

2 旧工場棟解体工事発注仕様書

No.	ページ番号 又は 図面番号	項目 又は 図面名称	質問事項	回答
1	5	4. 公害防止対策	4)水質対策「雨水は、油分等が混入しないようにし、濁水処理装置にて処理後放流するものと・・・」ありますが、建屋一般解体時の対応との考えでよろしいでしょうか。	よろしい。なお、ストックヤード等整備工事を含め、すべての工事期間中において工事範囲から放流される雨水は本仕様書表-3の排水基準を遵守すること。 (工事施工に由来しないものを除く。)
2	7	4. 解体跡地整地等	埋戻土は、砂利または砕石を使用するとありますが、規格はあるのでしょうか	特にないが、地耐力10t/m ² を確保できるものを選定すること。
3	7	4. 解体跡地整地等	地中配管の敷砂の代替えとして熔融スラグを使用することは認められるとありますが、支給若しくは購入でしょうか	組合が製造した熔融スラグを購入するものとする。
4	7	5その他	4)PCB機器対策「特別管理産業廃棄物保管基準に沿った保管施設を設置し、運搬まで行うこと」とありますが、組合の指定する場所でなく、請負者が保管場所を新たに用意するという考えでしょうか。請負者が用意する場合、保管場所の設置期間はどのようにお考えでしょうか。	現在、低濃度PCB含有絶縁油を内蔵した変圧器、コンデンサ等は、旧工場棟内の1階受変電室及び2階破碎機電気室を特別管理産業廃棄物保管場所として保管を行っている。当該機器は、組合にて今年度中に処分予定であるが、本工事の施工において組合が処分するまでの間に当該機器の移動が必要な場合は、請負者にて保管場所を新たに用意すること。
5	20	6. アスベスト含有の恐れがある吹付リシン、油性シーリング材の処理について	アスベスト含有の恐れがある吹付リシン、油性シーリング材の処理について「解体前に採取・分析を行い、アスベストを含有する物であった場合、除去を実施する。」とありますが、対策工事費用及びアスベスト廃棄物処理にかかる費用については、変更協議していただけますでしょうか。	平成28年7月6日付け回答書にて回答済み
6	20	6. アスベスト含有の恐れがある吹付リシン、油性シーリング材の処理について	アスベスト含有の恐れがある吹付リシン、油性シーリング材について、公告中現地調査時にサンプリングして分析するとは可能でしょうか	平成28年7月6日付け回答書にて回答済み

7	21	1. 調査項目	2) 分析方法等「大気中のSPM測定方法は、「PM2.5測定方法暫定マニュアル改訂版」に準じて行う」とあります。 SPM(粒径10 マイクロメートル以下の大気中に浮遊する粒子状物質)ではなく、PM2.5 (直径2.5マイクロメートル以下の超微粒子)の測定をお考えでしょうか	SPM10の測定方法として、光散乱法、圧電天秤法、ベータ線吸収法等によるものとする。
8	23	3. 解体工事の施工時の調査	6) 施設建物下土壌汚染等状況調査「埋戻前に施設建物下の土壌について汚染等の状況を調査する。」とありますが、自然由来の含有を含め土壌汚染が確認された場合の対策工事等は、変更協議と考えてよろしいでしょうか。	施設建物下土壌汚染等状況調査において、自然由来又は施設操業による土壌汚染が確認された場合の対策工事等は、工期を含め変更協議とする。 なお、土壌汚染対策法第4条及び県民の生活環境の保全に関する条例第29条の2による届出・報告の手続き等の一切を本工事にて行うこと。
9	28	3. 健康管理	「2) 第3管理区域で汚物除去作業、解体作業に従事する者は全員血中ダイオキシン類の濃度測定を工事着手前、工事終了後に実施し」とありますが、着手前・終了後の採血及び終了後の濃度測定を行い、異常値の者だけ着手前採血を測定するという点でよろしいでしょうか。	仕様書の条件通りとする。
10	40	6. 埋戻し、整地	「平板載荷試験により地耐力について10t/m ² 以上あることを確認」とありますが、一ヶ所行えばよろしいでしょうか。	ストックヤードで1箇所、計量棟で1箇所は行うものとする。
11	4	2. 用地利用条件	「平成30年4月～平成31年3月の1年間、ストックヤード等整備工事を行うため、これに問題ないよう平成31年3月末までに解体を完了させること。」とありますが、平成30年3月末ということでしょうか。 また、今回工事においては平成31年4月からストックヤード等が供用開始できればよいと考えますが、平成30年3月末までに解体工事を完了しなければならない理由は何かあるのでしょうか。	ご指摘のとおり。なお、ストックヤード等整備工事の工期に支障がないのであれば、平成30年3月末までに解体工事が完了していなくても良いものとする。

12	23	3. 解体工事の施工時の調査	6) 施設建物下土壌汚染等状況調査において、土壌汚染が確認され対策工事が必要になった場合、ストックヤードの供用開始日の変更は可能となるのでしょうか。または、土壌汚染除去工事も含めて工期内の竣工を必須とお考えでしょうか。	No. 8の回答のとおり
13	4	2. 用地利用条件	平成28年9月から平成30年3月までを旧工場解体期間とし、平成30年4月から平成31年3月15日までをストックヤード等整備工事期間中と解してよろしいですか。	No. 11の回答のとおり
14	4	2. 用地利用条件	「解体ステップ図」参照とありますが、これは参考図と解してよろしいでしょうか。	参考図であるが、北側搬入動線を確保するなど、主旨は理解して工事計画に取り込むよう努力すること。
15	5	4. 公害防止対策	4) 水質対策「雨水は、油等が混入しないようにし、濁水処理装置にて処理後放流する」とありますが、この装置はどの範囲の雨水を対象として、どこに設置するものでしょうか？ご教示ください。	No. 1の回答のとおり。なお、設置場所については、組合施設の操業に支障のない場所にて、請負者にて計画のこと。
16	7	3. 解体撤去工事に伴う切り回し工事	現時点で想定されているもしくは設計上見込まれている切り回し工事、盛替工事をご教示ください。	監視カメラ移設(電-03参照)、既設計量棟排水(補-8、9参照)、雨水排水(意-79参照)、仮設駐輪場、仮設喫煙所、計量棟切替に伴う切り回し・盛替工事等
17	7	4. 解体跡地整地等	掘削して構造物の解体撤去後のすべての埋戻しについては、購入土ではなく砂利または碎石(再生碎石は不可)で行うと解してよろしいでしょうか？	補-15を参照のこと。網掛部以外は購入土での埋戻しでよい。
18	7	4. 解体跡地整地等	「また、溶融スラグ二次製品や地中配管の敷砂の代わりに溶融スラグを使用することは認められる。」とありますが、埋戻しに溶融スラグの使用が認められると言う意味でしょうか？	埋戻しでの溶融スラグの使用は地中配管の敷砂の代替に限られる。
19	7	5. その他	別途資料に示す工場棟内の備品・什器等の残留物との記載がありますが、別途資料が見当たりません。ご教示ください。	プ-85を参照のこと。
20	7	5. その他	PCB保管施設について、設置場所及びその施設の仕様をご教示ください。	No. 4の回答のとおり。なお、保管施設の仕様については、特別管理産業廃棄物保管基準を満足する仕様であること。

21	8	5. その他	仮設現場事務所及び作業員駐車場の設置場所について、敷地外に適宜設けるとの記載がありますが、具体的に想定されている場所をご教示ください。	請負者にて想定のこと。
22	15	1. 計画書の提出	6) 解体施設内部の汚染物の事前サンプリング調査結果（添付資料の組合が作成したもの）との記載がありますが、添付資料が見当たりません。ご教示ください。	プー87を参照のこと。
23	15	2. 周辺環境対策	「旧工場の全体または解体工事を行う区画の全体を、仮設の壁等及び天井により隔離する」との記載がありますが、工場棟屋根のうえに仮設天井の設置が必要ですか。ご教示ください。	除染前に躯体に開口部を設ける等、工事上区画が必要となる場合は設置のこと。
24	15	2. 周辺環境対策	排気処理設備を設け、外部に対して負圧状態にするとの記載がありますが、排気処理設備の能力について換気回数の指定はありますか。	「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に準じ、4回/h以上とする。
25	17	3. アスベスト含有吹付け材の除去	アスベスト含有吹付け材の記載がありますが、本解体対象施設に飛散性アスベストはないものと解してよろしいでしょうか。	本仕様書及び添付図面並びに平成28年7月6日付け回答書別紙「有害物質事前調査・分析結果報告書（石綿）」により請負者にて想定のこと。
26	20	6. アスベスト含有の恐れがある吹付け材、油性シーリング材の処理について	リシン吹付け材のアスベスト含有が認められた場合は、費用については変更協議ができるとの回答(7/6付)を頂きましたが、工期についても影響がある場合、設計変更の対象になると解してよろしいでしょうか？	よろしい。
27	20	第3節 砂防対策	貴組合における設計では、沈砂池の容量はどの程度の大きさ（容量・面積）を御考えでしょうか。ご教示ください。	仕様書の条件通りとする。行為面積は工事方法によるため、請負者にて必要な大きさを想定のこと。
28	23	3. 解体工事の施工時の調査	6) 施設建物下土壌汚染等状況調査について、地下部撤去にあたり、土壌汚染対策法第4条に該当すると思われませんが、土壌汚染対策法に基づく調査及び汚染が判明した場合の措置については、当工事の範囲ではないと解してよろしいでしょうか？	No. 8の回答のとおり

29	23	3. 解体工事の施工時の調査	土壌汚染対策法の調査及び対策措置により、本解体工事の工期等に影響ある場合は、工期及び費用について、設計変更協議の対象になると解してよろしいですか。	No. 8の回答のとおり
30	24	2. 再利用、再生利用	金属屑等有価物の売却益は受注者に帰属すると解してよろしいですか。	よろしい。
31	30	2. 解体工事の計画の届出	5) 事前の汚染物の調査結果（別途組合から提示）との記載がありますが、提示資料が見当たりません。ご教示ください。	プー87を参照のこと。
32	34	4. 付着物除去結果の確認	付着物除去結果の確認方法として、公定法による付着物の分析は必要ないと解してよろしいですか。	よろしい。
33	35	1. 解体方法の選択	2) 解体工事注意事項(4) 解体対象物に基礎杭の記載がありますが、配布いただいた図面集に基礎杭の表記がありません。基礎杭はありますか。	基礎杭はありません。
34	40	6. 埋戻し、整地	整地及び舗装を行う組合が指定する範囲をご教示ください。また、舗装の厚さをご教示ください。	ストックヤード等整備工事図面A-30～32、35～37を参照のこと。なお、本設施工までの間、必要に応じて仮舗装等を行うこと。
35	補-1～11		補1～11の図面は、現在現地に存在する電気・給水・排水等の埋設配管や屋根上配管を示すものでしょうか？あるいは、今回の工事で仮設しなければならないものでしょうか？何を意図した図面なのかご教示ください。	補1～2の図面は、旧工場棟～計量棟～管理棟間における、旧工場に関する給水、排水及び電線等を示すもので、本工事において必要な切り離し、切り回し、撤去（ただし、工事範囲外の配管は埋め殺しを可とする。）を行うこと。 補3～11の図面は、旧工場棟周辺に存在する稼働施設に関する電気・給水・排水等の埋設配管や屋根上配管を示すもので、施工上の取り合い等の参考とすること。
36	補-12	管理棟 1階幹線・動力設備配管配線図	仕様書に記載がありませんが、雲マークの付いた部分については、図面に記載のように「仮設電源線及び弱電線の撤去」は、今回工事に含まれるものでしょうか？	本工事にて撤去すること。

37	15	2. 周辺環境対策	1)ばいじん等の飛散対策に「(1)・・・仮設の壁等及び天井により隔離する。」及び「(3)解体工事を行う焼却設備等が屋内にある場合は、当該建屋の開口部を目張り・・・これを全体隔離とする。」とありますが、建屋解体で管理区域が解除されていれば、(1)の天井による隔離は不要と考えてよろしいでしょうか。	管理区画解除後についてはよろしい。ただし粉じん防止に配慮すること。
38	23	3. 解体工事の施工時の調査	6)施設建物下土壌に「・・・砒素、鉛、フッ素、ホウ素については自然由来の含有がある場合があるので、それを説明できる調査。試験方法とすること。」とありますが、同一敷地内の一期工事(新工場新設工事)で当該物質が発見されていないとのことであれば、自然由来と認定することは困難と考えてます。実施するのであれば調査・試験方法についてご指示ください。	土壌汚染対策法及び関連基準に準じて実施すること。
39	補-01 補-02	電気仮設外構配管図 衛生仮設外構配管図	電気仮設外構配管図及び衛生仮設外構配管図に記載されている配管配線類は、今回の解体撤去に伴う盛替え工事に含めるものと考えてよろしいでしょうか。	No. 35の回答のとおり。
40	補-03 補-04		ごみ熔融施設接地極埋設位置図に記載の接地極は既に施工済で、今回の解体撤去に伴う新設では無いと考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
41	補-06～09		外部埋設配管図に記載の全ての配管類は今回の解体撤去で盛替えするものでしょうか、それとも既に施工が完了しているものでしょうか。	No. 35の回答のとおり。
42	補-10～11		温水埋設配管図に記載の配管は既に施工済で、今回盛替えは無しと考えてよろしいでしょうか。	よろしい。
43	補-12		幹線動力配管配線図に記載の配線類は今回の撤去解体で見込むものと考えてよろしいでしょうか。	No. 36の回答のとおり。
44			上記質問39～43に関して、設計書に数量記載が無いため、入札参加者による金額算出でよろしいでしょうか。	よろしい。

45	7	5. その他	4)PCB機器対策の項目に「保管施設を設置し」とありますが、保管施設の大きさが不明です。御指示下さい。	No. 4及びNo. 20の回答のとおり
46	8	5. その他	7)仮設工事・用務費の(3)に施工監理者事務所及び備品類を受注者の負担にて用意するよう記載がありますが、数量等詳細が不明です。事務所の大きさ及び各備品の数量(検査用備品含む)を御指示下さい。	20㎡、2人分程度とする。
47	22	3. 解体工事の施工時の調査	2)大気環境調査において、SPMを常時測定するとありますが、除染完了後定常状態で汚染物が観測されない場合、以降の測定を行わないとしてもよろしいでしょうか。	工事終了時まで測定を行うこと。
48			建設発生土の処分について、受領資料からは現況土壌の状況がわからない為、一般土として考えております。土壌環境調査により、現況土壌が汚染されていると確認された場合、その処分に掛る費用及び工期の延長について別途協議するものと考えてよろしいでしょうか。	別途協議とする。
49	23	第4節周辺環境の状況調査 3. その他	6)施設建物下土壌汚染調状況調査の項目において、埋戻し前に施設建物下の土壌について調査した結果、土壌が汚染されている場合、その対策費及び対策に必要な工期延長については別途協議するものと考えてよろしいでしょうか。	No. 8の回答のとおり。

3 スtockヤード等整備工事図面

No.	ページ番号 又は 図面番号	項目 又は 図面名称	質問事項	回答
1	A-29	既設外構撤去図	金抜内訳書から判断して、旧工場棟解体後の地盤レベルから各棟土工事をを行います、想定している地盤レベルをご指示下さい。	A-10図全体配置図に記載の敷地地盤レベルより計画建物周囲の平均地盤高さ(外構完了後の仕上り面)を算出し、その平均地盤面より外構工事の厚み分を引いた高さを「根切り開始レベル」として想定しております。 (設計GL91.00に対し、積算上の根切り開始レベルは90.56と設定)
2	A-15 A-25	ストックヤード平面図 部分詳細図(3)	部分詳細図(3)D-305のコーナー部ガルバ鋼板は平面図のD-306, 312, 314にも必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。
3	A-15 A-16 A-25	ストックヤード平面図 ストックヤード立面図・断面図 部分詳細図(3)	部分詳細図(3)D-303の柱カバーPLt9 は東立面図には有りませんが、ケラバまで必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	コンクリート立上りの天端までとする。
4	A-15 A-16 A-25	ストックヤード平面図 ストックヤード立面図・断面図 部分詳細図(3)	YY3-YX3柱に部分詳細図符号が有りません、D-307の様に両面PLt9有りでケラバまで必要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	No. 3の回答のとおり。
5	A-14 A-16	仕上表 ストックヤード立面図・断面図	西立面図YY3A-YY2間、腰上壁がサイディングの様な表示ですが多孔質吸音材と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。
6	A-14 A-15	仕上表 ストックヤード平面図	作業場YY3A通りに手洗いがありますが、ライニングはCBt100積み、壁・天端共吹付A仕上と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。
7	A-15 S-14 S-17	ストックヤード平面図 基礎伏図・屋根伏図 RC部材リスト	基礎伏図にスラブ天端レベルはGL+200と有りますが、平面図から作業場ーごみ受付ヤードのレベルがGL±0~+130、スラグヤードのレベルはGL±0~+400です。これらの部分は天端GL±0とし勾配はフカシでしょうか、又、フカシの場合補強方法をご指示下さい。	作業場ーごみ受付ヤードはスラブ勾配、スラグヤードの勾配はフカシ。 意匠図A-17, 18、構造図S-17に記載のとおり。

8	A-15 内訳書P10	ストックヤード平面図	内訳書に床下防湿層と土間下断熱材敷きの項目がありますが範囲が不明ですのでご指示下さい。	床下防湿層は、ストックヤード：全体、計量棟：計量機ピット下以外とし、断熱材は、ストックヤード：事務室、物入れ、倉庫、再生可能な粗大ごみの床下、計量棟：計量室、便所の床下とします。
9	A-15 内訳書P33	ストックヤード平面図	内訳書金属工事（内部）に記入のサイディングは倉庫の粗大ごみ側YX3通りYY3B-4間の壁と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	No. 50の回答のとおり。
10	A-14	仕上表	内部仕上表事務室の壁塗装EPは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	必要とする。
11	A-14	仕上表	内部仕上表便所の備考手洗ライニングは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。（機械設備工事にてカウンターを見込んでいる。）
12	A-20 A-22 内訳書P68	計量棟断面詳細図・展開図 建具表	サッシ膳板の扱いで相違する所がありますのでご指示下さい。 A-A断面詳細図AW-4：メラミンポストフォーム(A-20) B-B断面詳細図AW-5：木製UC(A-20) 建具表 AW-4～6：アルミ(A-22) 内訳書 AW-5～6：アルミ(P68)	木製 米梅UC とする。A-28図 D-502の仕様。
13	A-14 A-20 内訳書P74	仕上表 計量棟断面詳細図・展開図	内部の外壁側石膏ボード GL工法下地が内訳書では、12.5+9.5ですが、仕上表 断面詳細図から12.5の1枚張りと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。
14	A-21 S-20	計量棟ピット詳細図 計量棟伏図、軸組図	基礎伏図でWY1通りガード壁はWY4通りと同形状と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしい。
15	A-21 S-21	計量棟ピット詳細図 計量棟部材リスト、詳細図	ピット配筋詳細図スロープの寸法が通りから1650ですが、平面詳細図を正とし2250と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。。	よろしい。
16	A-20 内訳書P50	計量棟断面詳細図・展開図	内訳書に床下防湿層と土間下断熱材敷きの項目がありますが範囲は防湿層は土間全面、断熱材は計量室下と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	No. 8の回答のとおり。

17	A-29 内訳書P95	既設外構撤去図	ネットフェンス解体で内訳書ではH1500、L166mですが撤去図からH1000、L164mが正と考えて宜しいでしょうか。	H1500、L166mを正とする。
18	内訳書 P144 P145		仮囲い、シートゲート、交通誘導員の員数が設計書内訳書に記載されていますが、仮囲い、シートゲート想定位置、交通誘導員の配置場所及び月数をご指示下さい。	別添「ストックヤード等整備工事仮設範囲図」参照のこと。
19	S-14 S-16	基礎伏図・屋根伏図 軸組図(2)	基礎伏図とX1通り軸組図で柱符号が相違しています。基礎伏図を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。SP1が正の場合は柱脚詳細を御指示下さい。また柱型は不要と考えてよろしいでしょうか。併せて御指示下さい。	基礎伏図を正とする。 柱型は不要でよろしい。
20	S-17	RC部材リスト	スラブリストとスラグヤード配筋詳細図において、FS1の配筋が相違しています。スラグヤード配筋詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	配筋詳細図を正とする。
21	S-01	構造特記仕様書(1)	コンクリート工事において土間コンクリートが適用になっていますが適用範囲が不明です。適用無しと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
22	A-15	ストックヤード平面図	事務室・物入・一般搬入者ごみ受付ヤードの床下に断熱材ポリスチレンフォームt=25を見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	No.8の回答のとおり。
23	A-29 S-15	既設外構撤去図 軸組図(1)	土工事において解体後の現況地盤レベルはSGL±0と考えてよろしいでしょうか。異なる場合は解体後のレベルとSGLの関係が分かる資料を御指示下さい。	No.1の回答のとおり。
24	A-21	計量棟ピット詳細図	WX1. WX4通りに立上り(W1000*L16600程度)がありますが配筋が不明です。御指示下さい。	立上りFL+100とし、短辺・長辺D13@200ダブルとする。
25	A-21 S-20	計量棟ピット詳細図 計量棟伏図、軸組図	構造図と平面詳細図で曲面腰壁部分の形状が異なります。平面詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

26	S-20 S-21	計量棟伏図、軸組図 計量棟部材リスト、詳細図	スラブリストにおいてCS21の適用箇所が不明です。御指示下さい。	CS21は不使用。
27	A-19	計量棟平面図・立面図・断面図	計量室の床下に断熱材ポリスチレンフォームt=25を見込むと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	No. 8の回答のとおり。
28	A-15 A-23	ストックヤード平面図 部分詳細図(1)	吊り底折版の水上・ケラバの納まりについて、水上に化粧フレーム、ケラバに包み金物が必要な場合は御指示下さい。	軒先フレームと妻包みあり、屋根材同材とする。
29	A-16	ストックヤード立面図・断面図	吊り底からの縦樋に養生管が必要な場合は御指示ください。	養生管は不要とする。
30	A-18	ストックヤード断面詳細図(2)	腰壁柱型の鉄板他、養生管等屋外の鉄部は、亜鉛メッキの上DP塗装でよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
31	A-15	ストックヤード平面図	作業場YY3A通りの手洗いの詳細を御指示ください。	No. 6の回答のとおり。
32	A-14 A-23	仕上表 部分詳細図(1)	外壁下地材の仕様について、仕上表ロックウール化粧吸音板の複合板+透湿防水ですが、詳細図ではポリエチレンフォームの裏張りとなっています。詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
33	A-17	ストックヤード断面詳細図(1)	粗大金属ヤードYX2通りにW600*H300程度の立上りがありますが、範囲は間口全てでしょうか。天端・立上りの仕上げと併せて御指示ください。	柱脚部のみFL+200の立上がりとする。
34	A-15	ストックヤード平面図	一般搬入者ゴミ受付ヤードに車止めは不要でよろしいでしょうか。御指示ください。	よろしい。
35	A-16	ストックヤード立面図・断面図	RC外壁のタテ・ヨコ目地の寸法を御指示ください。 又、全てシーリングが必要と考えてよろしいでしょうか。御指示ください。	幅20mm×深さ10mm。計量棟にはシーリングが必要とする。

36	A-14 A-21	仕上表 計量棟ピット詳細図	外部仕上表において、屋根の樋径がVP150φ となっておりますが、平面詳細図ではVP100φ と相違致します。平面詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正とする。
37	A-21	計量棟ピット詳細図	平面詳細図において、ピット周囲にアングルL-75*75*6と御座いますが、ピット周囲には [-100*50*5コーナー金具がある為不要としてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
38	A-21	計量棟ピット詳細図	スロープの床仕上がコンクリート箒目仕上の上塗床Eとなっておりますが、塗床Eの塗布範囲はスロープのみと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	スロープ及び計量棟廻りまで含む。
39	A-14	仕上表	スロープの床仕上の塗床Eは散布工法・塗り付け工法の何れでしょうか。御指示下さい。	スロープ部は同時塗り付け工法、No. 38の回答に伴い、フラット部は同時散布工法とする。
40	A-14	仕上表	壁仕上に於いて、外壁面・内壁面腰壁RC及び上部胴縁側、柱型のボード下地はフカシLGSW=50 と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
41	A-14	仕上表	断熱材に於いて、特記仕様書(7)より、外壁面腰壁RC面に硬質ウレタンフォームt=25を吹き付けると考えてよろしいでしょうか。御指示下さい	よろしい。
42	A-14 A-15	仕上表 ストックヤード平面図	事務室の平面図に机・いすの記載がありますが仕上表備考欄に記載がありません。別途工事範囲と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。建築工事範囲の場合は、仕様・詳細を御指示下さい。	よろしい。
43	A-14	仕上表	ブラインドボックスの仕様詳細が不明です。アルミ既製品W120*H150 コ型と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 (※計量棟も同様に考えております。)	よろしい。
44	A-22	建具表	事務室の窓額縁に於いて、建具表よりアルミ製額縁と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

45	A-17	ストックヤード断面詳細図(1)	事務室断面詳細図(1)B-B断面詳細図より、外壁面側の下り壁端部に塩ビ見切を設置すると考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 また、物入の外壁面にも同仕様の下り壁を設置すると考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 よろしい。
46	A-24	部分詳細図(2)	部分詳細図(2)/D-207 シャッター取付下地に於いて、両サイドの縦材□-100*100*4.5の高さはシャッターボックス天端までと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
47	A-26	部分詳細図(4)	倉庫の柱カバーに於いて、部分詳細図(4)/D-312 倉庫側にカバーの記載がありませんが必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
48	A-14 A-17	仕上表 ストックヤード断面詳細図(1)	倉庫の壁仕上に於いて、断面詳細図(1)より、スラグヤード側以外のRC腰壁上部仕上は胴縁あらわしと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
49	A-17 A-24	ストックヤード断面詳細図(1) 部分詳細図(2)	再生可能な粗大ごみヤードB-B断面図に部分詳細図番号D-502とありますが、D-202に読み替えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
50	A-17	ストックヤード断面詳細図(1)	再生可能な粗大ごみヤードの壁仕上に於いて、フッ素ガルバリウム鋼板サイディング張仕上となるのは、B-B断面図より、YX3通りのみと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	YY3A, YY4をガルバリウム鋼板の外壁表とし、それ以外の壁はB-B断面に記載の通り、内壁：ふっ素ガルバリウム鋼板サイディング張 t=0.5とする。
51	A-24 S-14	部分詳細図(2) 基礎伏図・屋根伏図	再生可能な粗大ごみヤードの壁仕上に於いて、YX3通りフッ素ガルバリウム鋼板サイディング張仕上となる部分に、部分詳細図(2)梁貫通部の処理が必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	梁下で止めるため不要。(A-17 A-A断面図参照)
52	A-24	部分詳細図(2)	部分詳細図(2)室名札に於いて、設置する部屋は、事務室・倉庫・物入各1箇所と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

53	A-05	特記仕様書(5)	金属工事 軽量鉄骨天井下地に於いて、フトコロ3mを越える場合の補強図示とありますが、記載がありません。詳細を御指示下さい。	公共建築工事標準仕様書14.4.4による。 [-19x10x1.2 水平補強、斜め補強、縦横方向@1800程度。建築工事標準詳細図3-21参照。
54			以下項目のメーカー・品番ありましたら御指示下さい。(ストックヤード) ・天井点検口 ・ビニル床タイル ・ビニル床シート ・天井化粧石膏ボード ・ブラインド	特にない。
55	A-14	仕上表	壁仕上に於いて、外壁面のボードはGL工法(単張)と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	No. 13の回答のとおり
56	A-14	仕上表	WCの壁仕上に於いて、ボードの上張は耐水PBと読み替えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
57	A-14 A-19 A-20	仕上表 計量棟平面図・立面図・断面図 計量棟断面詳細図・展開図	WCの仕上表備考欄に手洗いライニングとあります。平面図・展開図に記載ありませんが、必要と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。 仕上はフカシLGSW=65+耐水PBt=12.5+ビニールクロス貼、H=900、面台D=100と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	No. 11の回答のとおり No. 56の回答のとおり
58	A-05 A-28	特記仕様書(5) 部分詳細図(6)	計量室の窓 木製膳板の樹種に於いて、部分詳細図(6)では米母とあり、特記仕様書の樹種と相違します。部分詳細図(6)の米母を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

59			<p>以下項目のメーカー・品番ありましたら御指示下さい。(計量棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井点検口 ・ビニル床タイル帯電防止用 ・ビニル床シート ・OAフロー ・防塵塗装 ・天井化粧石膏ボード ・天井岩面吸音板 ・ブラインド 	<p>防塵塗装はA-14参照。 その他については特になし。</p>
60	A-06 A-22	特記仕様書(6) 建具表	<p>アルミ製建具の性能について、特記仕様書ではA種とありますが、建具表の共通事項ではS-5, A-4, W-5, T-1とあります。建具表を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしい。</p>
61	A-22	建具表	<p>LSD-1の枠の仕様は化粧鋼板とありますが、スチール製SOP塗と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>化粧鋼板とする。</p>
62	A-29	既設外構撤去図	<p>既設外構撤去図において、解体工事完了後の現況地盤レベルが不明です。解体後現況地盤レベルを御指示下さい。</p>	<p>No. 1の回答のとおり。</p>
63	A-29	既設外構撤去図	<p>アスファルト舗装撤去面積において、図示と図面記載数量で相違しています。図示より742㎡、87.72㎡(洗車場)を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>844㎡、87.72㎡とする。</p>
64	A-29	既設外構撤去図	<p>西側境界ネットフェンス撤去において、H1000と有りますが、参考内訳ではH1500 となっており相違しています。H1000を正と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>No. 17の回答のとおり。</p>
65	A-29	既設外構撤去図	<p>植栽土壌撤去において、厚みが不明です。厚300程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしい。</p>
66	A-31	外構計画平面図	<p>植栽工事別途と記載が有りますが、客土施工も別途工事範囲に含まれると考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしい。</p>

67	A-31	外構計画平面図	舗装工事において、別途工事範囲の記載が有りますが、車止めブロック、区画線引きは本工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
68	A-33	外構雨水排水計画図	ストックヤード南西側緑地において、「i=3.0% L=6.7m」と記載が有りますが、対象工作物が不明です。誤記と考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
69	A-35	外構詳細図(1)	アスファルト舗装断面詳細図において、CBR=4未満の場合は、路床改良を行うと有りますが、本計画範囲のCBR数値が不明です。路床改良を行う場合、範囲及び改良詳細を御指示下さい。	CBR値は試験による。 路床改良を行う場合、範囲は車路部分（砂利または砕石にて埋め戻す範囲外）とし、改良は普通ポルトランドセメントとする。
70	A-35	外構詳細図(1)	アスファルト舗装(歩道部)断面詳細において、該当範囲が不明です。該当無しと考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
71	A-35	外構詳細図(1)	コンクリート平板のメーカー仕様・品番を御指示下さい。	特にない。
72	A-37	外構詳細図(3)	駐輪場において、上屋のメーカー仕様・品番を御指示下さい。	ニチプレ NCF-Z-4 カラー鋼板折板屋根 同等品程度とする。
73	A-37	外構詳細図(3)	上記上屋において柱脚部固定がボイドタイプとベースプレートタイプの2種類記載されておりますが、今回はボイドタイプを採用すると考えてよろしいでしょうか。御指示下さい。	ボイドタイプとする。
74	A-37	外構詳細図(3)	洗車場において、参考内訳にプライムコートの数量が記載されておりますが、㎡当り数量が不明です。1.53L/m ² と考えるとよろしいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。(歩掛りA1-20-3より、153リットル/100㎡より)
75	A-8	特記仕様書(8)	特記仕様書 舗装 路床土の支持力比試験において、試験実施箇所数を御指示下さい。	舗装面積1000㎡あたり1箇所とする。